

学園広報

札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報入試課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
<http://www.sgu.ac.jp>



心理学部臨床心理学科開設



心理学部ランディングページでは、心理学部の特色を知ることができます。



心理学部特設サイトでは、心理学の楽しさに触れることができます。

「公認心理師(国家資格)」カリキュラムに対応した心理学部が誕生します

2018年4月に開設する心理学部臨床心理学科は、大学院臨床心理学研究科と連携し、2017年9月15日に施行された「公認心理師法」に合わせ、「公認心理師」の国家試験受験資格が得られるカリキュラムを開設します。

心理学部と大学院では、心の問題を扱う臨床心理学を中心に、心の基本的な働きを扱う基礎心理学の知識を深め、「心の健康を支援する専門家」を目指すことができます。

公認心理師のカリキュラムでは、心理学に関する幅広い知識の習得と演習・実習が必要とされています。心理学部と大学院における6年間の臨床心理学と基礎心理学、発達・教育・社会・産業の関連領域の心理学や医療福祉などバランスのとれた授業に加え、併設の心理臨床センター等の施設を利用したさまざまな体験型実習科目を用意し、「心理コミュニケーション力」と「心理的援助スキル」を備えた人材を育成します。

臨床心理士資格試験に5名合格

2017年度に実施された臨床心理士資格試験で、大学院臨床心理学研究科の修了生5名が見事合格を果たしました。今回の合格により、2001年度(1期)から2016年度(16期)までの修了生150名中、131名(87%)が臨床心理士として名を連ねることになります。今後とも、臨床心理士を養成する指定大学院として、より高い評価を得られるよう、教育の充実に努めて参ります。

中国・瀋陽大学との学術交流協定を締結

海外協定校が11カ国26大学に

6月7日、中国の瀋陽大学から李継安党委員会書記と4名が来学し、学術交流協定を締結しました。今回の協定締結については、本学の井上俊彌理事長が瀋陽大学の観光学部客員教授を務めており、一昨年、秋元克広札幌市長と同行し、瀋陽市と札幌市との友好都市提携35周年の行事に出席した際に瀋陽大学から快諾をいただきました。これにより、本学は26の海外大学と協定を締結したことになります。

瀋陽大学は1906年に創立され、現在は哲学、経済学、法律、教育などの18学部・10研究科、学生数約3万人を擁する総合大学です。

12月には瀋陽大学の日本語教員2名が本学で1カ月の研修を行い、今年6月にも瀋陽大学経営学部の教員研修が本学で実施される予定です。

今後さらに両大学の友好、学術向上を図るため、学生間の交流、教授間の交流などにより学術、研究、情報の交換などを行っていきたく考えております。



2018平昌冬季オリンピック出場

藤本那菜選手 (2012年3月人文学部臨床心理学科卒・大学院臨床心理学研究科出身)

アイスホッケー女子日本代表ゴールキーパー 2014ソチ冬季五輪に続いて2大会連続出場

2月9日に開幕した韓国・平昌冬季五輪にアイスホッケー女子日本代表（スマイルジャパン）のゴールキーパーとして、藤本那菜選手（株式会社デンソー北海道・ボルテックス札幌所属）が、2014年ソチ冬季五輪に続いて2大会連続で出場しました。藤本選手は、平昌五輪出場に向けて自身が考えたイメージを基に、日本を背負っているという気持ちを込めた「松竹梅」の絵柄のヘルメットを新調して大会に臨みました。五輪初勝利とメダル獲得を目指したスマイルジャパンと藤本選手への応援ありがとうございました。



【人文学部40周年記念事業】対話集会

雨宮処凛さんと、人間の生命と尊厳について考える — 相模原事件から1年

真夏のような暑さとなった7月8日、人文学部40周年事業として、作家・活動家の雨宮処凛氏をお招きし、「人文学部公開講座」の総まとめとなる「対話集会」を実施しました。本学卒業生3名が登壇し、人文学部新田雅子准教授が進行役となって、それぞれの日ごろの活動と、相模原事件について感じたことなどをやり取りしました。事件の背後にある排除や疎外、切り捨てを合理化する言説にどう対抗すべきかについて、雨宮氏のラディカルな姿勢と寛容なまなざしに、あるいは若い卒業生の誠実な言葉や実践のなかから、参加者各々が深く考える機会となりました。



教員採用試験に合格、 既卒者も含めて39名が登録

平成30年度の教員採用試験（北海道、札幌市、新潟県）に、4年生から小学校4名、中学校英語1名、高校商業2名、特別支援学校4名の計11名、既卒者28名（社会、英語、商業等含む）の合計39名（2018年1月16日現在）が合格し、登録されました。11月16日には、合格者の努力を労い、G館8階を会場に、「教職をめざす学生交流会」が開催されました。先輩の経験談に、後輩たちも教員への決意を新たにしました。



中標津町及び 中標津町教育委員会と協定を締結

12月5日、中標津町及び同町教育委員会と学術研究・地域振興等の分野で、相互に協力するための協定を締結しました。本学が自治体と協定を締結するのは、置戸町に次いで2例目となります。調印式は中標津町総合文化会館で行われ、終了後には鶴丸俊明学長が「考古学者が語る文化論～黄門様のへそ緒からチンギスハンの陵墓探しまで～」と題した記念講演会を行い、中標津町の関係者のほか学長の教え子らも参集し、平日の昼間にも関わらず約80名の聴衆が興味深い講演に耳を傾けておりました。



学科トピックス

人間科学科

社会福祉実習報告会&福祉分野で働く卒業生との交流会

参加者は今年度の実習生22名、次年度実習予定の学生、卒業生9名、実習指導者2名でした。領域ごとの実習概要と、テーマごとの発表、卒業生からの実践報告2名、北海道医療大学の向谷地生良先生の総評がありました。卒業生と実習指導者の方全員からもひとことコメントをいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。



臨床心理学科

海外スタディツアー

2018年度よりタイでのスタディツアーを実施する予定です。そのために2度に渡る教職員の視察と打ち合わせを行いました。孤児院や大学病院精神科訪問、スラムの子どものサポートスタッフの講演などを通じ、学生に幅広い共感能力を身につけて社会で活躍してほしいと願っています。



法律学科

法学部公開講座【法政総合講座C】 ～持続可能な地域デザイン～

今年度の法政総合講座は、「持続可能な地域社会のデザイン」をテーマに北海道における地域・市民社会のあり方に焦点を当てた講義を行いました。

毎週、道内の様々な地域でまちづくりに関わってこられた講師を招聘し、ご講演いただきました。まちづくりで一番重要なのは人づくりであるというのが講師の方の共通した結論で、持続可能な地域社会のあり方を考える上で示唆に富む話も多く、本学学生、一般市民、社会人の方にも満足頂ける講座になったと思います。



会計ファイナンス学科

農業簿記検定2級に5名が合格

坂口勝幸ゼミナールの学生5名が、第7回農業簿記検定2級に合格しました。ゼミテーマである「簿記をとおして業種の違いを知ろう」への取り組みの一つとして、毎年2年次に全員で受験し、今年で3年目です。これまでの合格者は10名を超えています。農業は成長分野の一つなので、期待される資格でもあります。



英語英米文学科

アメリカの高校生との交流

1年生の必修科目「Oral Communication A」の授業の一環で、1年生とアメリカの高校生との交流が行われました。この活動は、札幌で活動するNPO団体World Youth Japanと米国のNPO団体World Learningの協力を得て毎年行われています。当日はグループに分かれ、午前中は札幌市内を案内し、午後は自宅に招いて日本食を一緒に作りました。初対面にも関わらず、お互いの趣味や文化について語り合ううちにすっかり打ち解け、英語コミュニケーション力に自信を深めた一日となりました。



こども発達学科

教員採用試験に向けて

毎年「教員採用試験対策」を実施しています。2～3年生には、東京アカデミーの対策講座を学内で開講し、4年生（卒業生含む）に対しては1～2日をかけて、面接はもちろん各実技検査（ボール運動・ピアノ・水泳）についても対策をしています。その後も試験直前まで対策は続き、毎年多くの学生が教壇に立って活躍しています。



経済学科

経済学部公開講座【経済学特別講義C】 「北海道における1次産業の現状と課題」

今年度の経済学特別講義は「北海道における1次産業の現状と課題」というテーマで行われ、13名の外部講師から1次産業の現状と今後の取り組みについてご講演いただきました。北海道経済に大きな影響を与える1次産業が抱える課題として後継者対策や海外への輸出、農産物のブランド化などが紹介されました。



経営学科

学生の主体性を育む フィールドワーク型アクティブラーニング

キャリアマーケティング専攻の3年生が江別工業団地協同組合の広報誌を作成しています。学生が企業に出向き、経営者や関係者とのヒアリングを行い、各社A4版1枚の広報ページを作成する取り組みです。作成されたページは工業団地協同組合のホームページに掲載されています。3年間で134社取材する予定で、これにより、学生たちの主体性、コミュニケーション能力などの社会人基礎力の強化に繋がっています。



学園創立70周年・大学開学50周年記念事業

心理学部設置記念学術講演会 ～講演と音楽の夕べ～

[第1部] **脳とこころとからだ**
講演 講師：心理学部長 室橋春光教授 ※2018年4月 心理学部開設

[第2部] **SORA With HOKKAIDO**
音楽 ～北海道のSORA「空」と大地を奏でる～
アンサンブルグループ奏楽（そら）

9月27日、「心理学部設置記念学術講演会～講演と音楽の夕べ～」が札幌市内の道新ホールで開催されました。

第1部の講演は、テレビにも出演している心理学者に依頼していましたが、当日体調不良の為、急遽、室橋春光心理学部長が「脳とこころとからだ」をテーマに講演をいたしました。

心理学者の講演を楽しみに来場された皆さまには改めてお詫び申し上げます。

第2部では、道内各地で音楽活動を展開しているアンサンブルグループ奏楽（そら）のメンバーによる北海道ゆかりの音楽を演奏いただきました。



学生と教職員の協働による 壁画制作プロジェクト

2016年度職員研修会のチームプロジェクトの一環として、チームDでは、「学生と教職員の協働による壁画制作プロジェクト」を発案しました。学園創立70周年記念事業として、本学の歴史を想像させる壁画の下絵を作成しました。職員に加えて学生有志を募り、大学の理念である「協働（構成員で創りあげる大学）」の達成を意図して、その下絵を基に、C館2階サポートセンター前の壁面に学生と教職員が協力して約46,000枚の色付きシールを貼り、11月29日に壁画を完成させました。



学園創立70周年記念事業・大学開学50周年記念事業並びに 札幌学院大学教育振興寄付金のご協力に深く感謝

同窓生、保護者の皆さまをはじめ多数の方々から寄付金のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

寄付者・ご芳名 (敬称略・順不同) 2017.4.1～2018.1.11

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|----------|
| 池脇 利昭 | 酒井 恵真 | 中村 重和 | 堀内 高 | 横山 末雄 |
| 市川 茂 | 佐藤 文昭 | 西田 敏枝 | 牧 努 | 米澤 恒司 |
| 上村 秩子 | 杉井 酉子 | 西山 友男 | 松木 剛 | (他匿名13名) |
| 小西 秀雄 | 鈴木 邦夫 | 八講 徹 | 松下 公紀 | |
| 小林 延行 | 高橋 宏司 | 原部 智行 | 松本 健義 | |
| 近藤 正孝 | 谷口 義秋 | 平木 淳一 | 松本美智子 | |
| 斉藤けい子 | 辻 智子 | 藤田 直 | 三浦 上 | |

第41回学術講演会 ～講演と音楽の夕べ～

[第1部] 北海道観光の現状と課題 講演 一人材育成と大学の役割

講師：公益社団法人北海道観光振興機構会長 堰八義博

11月18日、学園創立70周年・大学開学50周年を記念して「第41回学術講演会～講演と音楽の夕べ～」がG館SGUホールで開催され、近隣住民、学生、同窓生など約200名の方にご来場いただきました。

第1部の講演では、北海道観光振興機構会長で北海道銀行代表取締役会長の堰八義博氏をお招きし、「北海道観光の現状と課題一人材育成と大学の役割」と題し、ご講演をいただきました。堰八氏からは、「観光を取り巻く現状」、「観光振興の取組み」、「観光を取り巻く課題」について、パワーポイントを活用しながらご説明頂きました。最後に北海道観光を支えるための「人材育成と大学の役割」として、学内の授業だけでなく、学外に出て学ぶ体験も重要であること。また、郷土愛を育み、北海道の歴史に興味を持たせること、学ぶことの大切さを伝えることが重要ではないかとの提

[第2部] 大平まゆみ～弦楽器の魅力～ 音楽

ヴァイオリン：大平まゆみ（札幌交響楽団コンサートマスター）
ヴィオラ：鈴木勇人（札幌交響楽団）
チェロ：小野木遼（札幌交響楽団）

言をいただきました。

第2部では、「大平まゆみ～弦楽器の魅力～」と題して、札幌交響楽団コンサートマスター大平まゆみさんのヴァイオリンと鈴木勇人さんのヴィオラ、小野木遼さんのチェロのソロ演奏と弦楽三重奏の演奏を堪能しました。

参加者からは、「北海道観光についての数々のご指摘に深い感銘を受けました。特に食と観光についてのご意見は素晴らしいの一言です。とても分かりやすい説明で、北海道観光の現状を理解することができました。興味深い話の数々、期待以上でした」、「素晴らしかった。札幌の若手を育てる姿勢も教育の場での演奏会にふさわしい。弦楽器の素晴らしさを知りました。心の奥に染み入る音色に感動しました」などの感想をいただきました。



文泉会 ホームカミングデー

8月25日、「学園創立70周年・大学開学50周年記念ホームカミングデー」を開催しました。今回は、第23回文泉会支部長会議と併せた企画として、道内外の支部長約20名と佐藤政隆文泉会長ほか役員の方々に出席いただきました。全体会では、最初に学生が作成した70年の歴史映像を見ながら懐かしい思い出に浸りました。その後、佐藤文泉会長と井上俊彌理事長からの挨拶、鶴丸俊明学長の講話と続きました。施設見学ではコラボレーションセンターやグローバルラウンジ、図書館と回り、学生たちが最新のシステム環境で学習していることをご理解いただきました。その後「レストラン文泉」で交流会を行い、本学に対する意見や要望などを伺い、親睦を深める有意義な会となりました。今後も多くの同窓生が来ていただけるよう、準備してお待ちしております。



公開講座 — 大学の知的財産を社会へ発信 —

人文学部公開講座

人間の生命と尊厳について考える —相模原事件から1年

2016年7月26日未明に発生した相模原市「津久井やまゆり園」での殺傷事件を一つの契機として、学内外の講師陣が毎回さまざまな角度から人間の生命と尊厳について市民と学生に問いかけました。8週15回全てが中身の濃い充実した連続講座となりました。6月10日には当事者運動の第一人者である安積遊歩先生が「内なる優生思想に向き合う」と題してのワークショップを行いました。右の写真はその様子です。



※公開講座は、「道民カレッジ」の連続講座で「えべつ市民カレッジ」との共催です。

市民講座

心理臨床センター市民講座

今年度の心理臨床センター市民講座は、グリーンケアがご専門の天使大学横山聖美先生をお招きし、人文学部宮崎友香准教授と共に、11月18日「いのちと向きあうところのケア—緩和ケア・グリーンケアの現場から—」を開催し、講演とパネルディスカッションを行いました。定員を超える参加者にご来場いただき、盛況に終わりました。



保護者懇談会

保護者懇談会は、1974年から開催し、43年目を迎えました。

今年度は、8月に旭川と北見、9月に函館と青森、10月には本学で約200名の保護者の皆さまをお迎えし、開催いたしました。全体説明会では、教育活動、学生支援について、個別面談では、学部教員よりお子様の修学状況（単位修得・成績など）のお話をさせていただきました。



ふるさと江別塾

ふるさと江別塾は、江別市と本学を含む江別市内4大学が共同で運営するリレー講座です。今年度は、10月28日に人文学部森直久教授による「アクティブラーニングがやってくる」人文学部井上大樹准教授による「学校に通えない人ゼロを目指して—夜間中学の挑戦—」の2講座を開講し、50名以上の市民が参加されました。



保護者向け就職活動勉強会

10月7日、キャリア支援課主催による「保護者向け就職活動勉強会」を開催しました。当日は、石川千温就職部長（経営学部教授）から企業の採用動向と学生の就職環境、本学の就職支援についての説明に続き、「就職活動を振り返って」と題し、就活を経験した4年生3名によるパネルディスカッションが行われ、保護者の方々から多くの質問が寄せられました。

教員著書紹介

- 認知言語学演習1 解いて学ぶ認知言語学の基礎
- 認知言語学演習2 解いて学ぶ認知意味論
- 認知言語学演習3 解いて学ぶ認知語用論

山添秀剛（人文学部准教授）著
瀬戸賢一・小田希望 共著

【発行元】大修館書店
【発行日】2017年1月1日（第1巻）、
7月1日（第2、3巻）
【価 格】各巻2,200円（税別）
ISBN 978-4-469-21361-4（1）
978-4-469-21363-8（2）
978-4-469-21364-5（3）



本書は『認知言語学演習シリーズ』の3巻本です。認知言語学という難解な世界を誰にでもわかりやすく理解できるように様々な工夫が凝らされています。背景知識を身につけ、設問を解き、解説を読む、という構成を採用。ことばに対する研究方法も自然と身につきます。「はじめに」で札幌学院大学についても触れています。2012年度から今年度まで英語学や専門ゼミを履修した学生から多くのコメントをもらいました。それが本書の随所に！ とくにメタファー・メトニミー・シネドキを解説した第2巻で（北海道ネタも）。

アメリカン・ドリーマーズ： チャーミアン・ロンドンとジャック・ロンドン

クラリス・スタッツ 著 岡崎清（人文学部教授）訳
大矢健・衣川清子・小古間甚一・小林一博 共訳
【発行元】明文書房 【発行日】2016年12月30日
【価 格】2,800円（税別） ISBN 978-4-8391-0943-1

留学・研修の成果の一部として北米作家ジャック・ロンドンの伝記を共同で翻訳。二十世紀初頭のロンドンは妻とともに「アメリカン・ドリーム」を手に入れます。機会均等の理念が崩れたアメリカを逆照射する意味でも興味深い読み物になっています。妻チャーミアンを「同志」とし、今日に繋がる新しい女性像も提供しています。



日本列島におけるナイフ形石器文化の生成 — 現生人類の移住と定着 —（札幌学院大学選書）

大塚宣明（人文学部講師）著
【発行元】北海道大学出版会 【発行日】2017年9月30日
【価 格】12,000円（税別） ISBN 978-4-8329-6834-9

本書は、日本列島の人類史の始まりに関わる「いつ、どこから、どのように、誰が日本列島に移住し定着したのか」という研究課題に取り組んだものである。4万年～2万9千年前の列島全域を対象に、ナイフ形石器の技術的多様性を紐解くことで、アフリカに端を発する現生人類が日本列島に移住し定着する過程を明らかにした。



置戸町との連携 「置戸と歩んだ5年間」

置戸町との連携協定 —2期目(成熟期)へ—

2012年8月に道東の置戸町との間で締結された連携協定は1期5年を終了し、昨秋2期目にはいりました。この間、本学は同町での「講演と音楽の夕べ」の実施、協定以前から継続している考古学実習(遺跡の発掘実習)をはじめ、経済学部専門ゼミ、人文学部の社会調査実習、人文学部教員の研究調査などで150人を超える学生と教員が同町を舞台に、活動してきました。考古学実習では同町勝山地区の盆踊りのお手伝いを恒例とし、住民の皆さんとの交流を深めてきました。

2期目に入った昨秋、学芸員課程では「置戸町との5年」と題して、置戸町と連携協定を紹介する小展示を行い、それに連動して置戸町の皆さん手製のコロケの試食会と同町の特産品の販売会が開かれました。また、各界を代表する「置戸女性会議」の皆さんが来校され、学長の講話を聴き、懇談しました。これらの動きは今後の活発な交流を予感させるものと、期待が高まっています。



海外協定校の学生29名が参加 日本語教育・文化体験プログラム

7月に海外協定校の学生29名が参加し、1カ月間の日本語教育・文化体験プログラムを開催しました。日本語の授業だけでなく、週末はサクランボ祭り、旭山動物園とラベンダー畑の見学、函館へのフィールドトリップも実施しました。さらに学内では、ゆかた体験や本学学生との合同セミナーなども実施しました。

このプログラムには、サポート学生としてたくさんの本学学生が参加しました。わずか1カ月の間ですが、帰国時には涙ながらに別れを惜む姿も見られました。海外の学生と接し、多様な価値観に触れたことは、本学学生にとっても貴重な経験になりました。

本プログラムは夏と冬に開催しています。今年の冬のプログラムは59名の参加が予定されています。



鶴丸俊明学長が 北海道社会貢献賞を受賞

10月25日、鶴丸俊明学長が平成29年度「北海道社会貢献賞(私学教育功績者)」を受賞しました。高橋はるみ知事からの表彰と、「北海道の私学教育及び高等教育の振興発展に果たした功績は顕著である」との評価をいただきました。

【鶴丸学長から受賞にあたってのコメント】

「厳かな雰囲気の中、表彰していただいたことは身に余る光栄です。私が主として担ってきた学芸員課程は、道内私大で最多の人数を輩出しており、彼らの活躍が大きく評価されたと考えています。今後も北海道の私学教育発展のために尽力して参ります」



セラピードッグ「エース君」が 学生相談室にやって来た!

11月16日と12月21日の2日間、セラピードッグとして活躍する「エース君」が学生相談室に初めて来ました。1日目は100名以上の学生や教職員が来室しました。訪れた人は自然と笑顔になり、セラピードッグと触れ合い心が癒されていました。学生相談室に来ることが初めての学生もいたことから、学生相談室臨床心理士のト部洋子さんは、「このような企画をきっかけに、学生相談室を知ってもらい気軽に利用してもらいたい」と述べました。



衆議院議員総選挙期日前投票所開設

10月18日、G館SGUホールに衆議院議員総選挙の期日前投票所が設置されました。学内での期日前投票所の設置は、2016年の衆議院議員選挙に続いて2度目です。清水敏行法学部教授ゼミ生を中心に、法律学科の学生14名が運営に関わりました。

案内役を務めた河村駿佑さん(法律学科3年)は、「自分は住民票が札幌なので、22日に投票予定です。多くの学生に投票してほしいです」と感想を述べました。当日は、約150名の学生・教職員、地域の方が投票所を訪れ、投票しました。



Information

2018年度 大学行事等予定

前期	日程	内容
	3月29日(木) 30日(金)	在学生ガイダンス(2・4年)・在学生健康診断(2年) 在学生ガイダンス(3年)・在学生健康診断(3・4年)
	4月2日(月) 3日(火)・4日(水)	入学式 新生ガイダンス・英語プレイズメントテストⅠ
	5日(木) 6日(金) 7日(土)	新生ガイダンス 新生ガイダンス、新生健康診断 前期授業開始
	6月15日(金) 16日(土) 30日(土)	学園創立記念日(通常授業日) オープンキャンパス 大学祭
	7月22日(日) 28日(土)～8月3日(金)	オープンキャンパス 前期定期試験
	8月17日(金) 20日(月)～25日(土) 25日(土) 26日(日)	大学院臨床心理学研究科特別選抜入試 夏期集中講義期間(前期科目) 大学進学セミナー(旭川) 大学進学セミナー(北見)
	9月1日(土) 2日(日) 3日(月)～8日(土) 8日(土) 9日(日)	大学進学セミナー・保護者懇談会(帯広) 大学進学セミナー・保護者懇談会(釧路) 秋期集中講義期間(後期科目) 大学進学セミナー・保護者懇談会(函館) 大学進学セミナー・保護者懇談会(青森)
後期	日程	内容
	9月15日(土) 23日(日) 27日(木) 29日(土) 30日(日)	後期授業開始、AO入試第1回面談 オープンキャンパス 前期末学位記授与式 大学院第1期入試 大学院第1期入試
	10月6日(土) 13日(土)・14日(日) 20日(土)	保護者懇談会(本学) AO入試(本学) 編入学試験(A日程)
	11月24日(土)・25日(日)	推薦入試
	12月8日(土) 15日(土)	スカラシップ・一般・センター入試対策講座 自己推薦入試(A日程)
	1月10日(木) 19日(土)・20日(日) 24日(木)～30日(水)	英語プレイズメントテストⅡ 大学入試センター試験 後期定期試験
	2月3日(日)・4日(月) 9日(土)・10日(日) 22日(金) 25日(月)	一般入試(A日程) 大学院第II期入試 卒業・進級発表 転学部・学科試験
	3月2日(土) 8日(金) 15日(金) 17日(日)	編入学試験(B日程) 一般入試(B日程)・自己推薦(B日程) 学位記授与式 オープンキャンパス

※変更が生じた場合は、本学ホームページでご案内いたします。

【入試情報】オープンキャンパス

日程	時間	無料送迎バスの運行
3月18日(日)	13:00～16:00	JR札幌駅、 地下鉄新さっぽろ駅から 無料送迎バス(運行予定)
6月16日(土)	13:00～16:00	
7月22日(日)	11:00～16:00	
9月23日(日)	13:00～16:00	
12月8日(土)	13:00～16:00	
2019年3月17日(日)	13:00～16:00	

【入試情報】大学進学セミナー

日程	開催地
8月25日(土)	旭川
8月26日(日)	北見
9月1日(土)	帯広
9月2日(日)	釧路
9月8日(土)	函館
9月9日(日)	青森

※開催時間、会場は決まりたい本学ホームページでご案内いたします。

学位記授与式の挙行について

2017(平成29)年度 学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

〈日時〉2018(平成30)年3月16日(金)
〈式場〉札幌学院大学 G館SGUホール

- 10時 開式
経済学部 経済学科
社会情報学部 社会情報学科
- 11時 開式
大学院 臨床心理学研究科
人文学部 人間科学科
人文学部 英語英米文学科
人文学部 臨床心理学科
人文学部 こども発達学科
- 12時 開式
大学院 法学研究科
大学院 地域社会マネジメント研究科
経営学部 経営学科
経営学部 会計ファイナンス学科
法学部 法律学科

70th SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY
ともに学び、未来を創る。 Walk Together

70周年記念グッズ 第3弾

オリジナルクッキー

19個入
税込 ¥1,296
銀座
コロソパン東京

大学生協にて販売中

ミッキー
マグカップ

マグカップ
税込 ¥880

SNSで情報配信中

Facebook



twitter



受験生用 LINE



Instagram

